

『放送人の証言』

2月13日（月）午前10時

YouTube で一般公開 開始！

一般社団法人 放送人の会は1999年より、日本の放送メディア・文化に携わり、日本の放送・映像文化に多大なる功績を残してきた人々の映像を「放送人の証言」として記録してまいりました。

この証言を、これからのメディア文化の礎とすべく、2021年より、iU(情報経営イノベーション専門職大学)とデジタルアーカイブ化事業を立ち上げ、現在、大山勝美氏・澤田隆治氏をはじめとする総勢200人を超えるインタビュー映像をデジタル化のうえ、編集・蓄積しております。

今回公開の第一弾として、2月13日（月）午前10時より、
下記30人の方々のインタビュー映像をYouTubeにてリリースいたします。

URLは <https://www.youtube.com/@BroadcastingCreatorsTestimony>

併せて書き起こした文字ファイルを電子書籍で順次公開予定です。
なお、「放送人の証言」のPR映像が「放送人の会」HPに掲載中です。

<公開の証言者30名とその証言概要>

☆ 北川 信（まこと） 元テレビ新潟社長

NTV開局当時のエピソード、デジタル時代の番組作りのあり方、キー局とローカル局の問題について。

☆ 大山 勝美 テレビドラマ演出家

映画への対抗意識。テレビドラマの勃興から最盛期まで。その演出論を展開。

☆ 橋本 潔 テレビ美術監督

試験放送段階から関わり、テレビにおける美術を確立し、電気紙芝居にリアリズムを目指した経緯について。

- ◇ 川口 幹夫 元NHK会長
「紅白歌合戦」を初めてテレビ中継した時のエピソード。NHKの番組制作を外部制作者に開放した経緯など。
- ◇ 山本 隆則 ドラマ演出家
TBSから開局時のNETへ。脚本家高橋玄洋氏と数々の名作を生み出した頃の思い出について。
- ◇ 澤田隆治 お笑い番組プロデューサー 制作会社経営
「てなもんや三度笠」のエピソード、在阪テレビ局の歴史、制作会社立ち上げの苦労。
- ◇ 川竹 和夫 NHK放送記者
放送記者の採用一期生。新聞の受け売りからテレビ報道を確立していく苦労。記者クラブ制度のあり方について。
- ◇ 岡田 太郎 テレビドラマ演出家
フジテレビのドラマを牽引。昼の「よろめきドラマ」を確立。独自のテレビドラマ論。
- ◇ 中道 定雄 ラジオ・テレビ番組プロデューサー
「話の泉」「二十の扉」「とんち教室」から大河ドラマまでを熱く述懐。生涯現役。
- ◇ 田 英夫 ジャーナリスト ニュースキャスター
決死の北ベトナム取材経緯。ニュースキャスターの草分けとしての苦労。「ニュースコープ」降板の経緯など。
- ◇ 武 敬子 ドラマプロデューサー
ラジオで数々の賞を受賞。テレビに移ってからは「男女7人夏物語」など数々のヒットを飛ばしたプロデューサーの本音。
- ◇ 新井 和子 ドキュメンタリー作者
CIE(戦後の進駐軍の民間情報教育局)から開局直前のラジオ東京へ。女性ドキュメンタリー制作者として現役を貫いた姿勢。
- ◇ 川平 朝清 元琉球放送会長
戦前戦後の沖縄放送史からNHKへの転籍。ABUの設立までを歯切れ良い説明。
- ◇ 横澤 彪 元フジテレビプロデューサー
幼児番組から「笑っていいとも!」まで、漫才ブームを仕掛け、フジテレビの隆盛を不動にした立役者のテレビ論。
- ◇ 大和 定次 音響効果マン
音響効果のスペシャリスト。今では使われなくなった手製の道具を持参し、実演を披露。

- ◇ 末次 摂子 教養番組プロデューサー
新聞社から放送局に転じて、桑原武夫・司馬遼太郎等 関西の数々の著名人との番組作りを通じた交流について。
- ◇ 磯村 尚徳 ジャーナリスト キャスター
「NC9」スタートからの数々のエピソード。NHKの報道番組に新風をもたらした自負。
- ◇ 伊藤 豊 放送機器開発技術者
フレームシンクロナイザー、ストロボアクションなどを開発。海外からの高い評価を受けた思い出。
- ◇ 守分 寿男 ドラマ演出家
「うちのホンカン」など北海道の大自然を背景に数々の名作を演出について、そしてその演出論。
- ◇ 村野 賢哉 科学解説者
全日空羽田沖墜落事故・アポロ月着陸実況の回顧、科学番組に市民権を与えた経緯。
- ◇ 鴨下 信一 ドラマ演出家
「岸辺のアルバム」など数々の名作の演出のこと。テレビドラマ演出論。
- ◇ 勝部 領樹 放送記者 キャスター
「NC9」「NHK特集」の数々、初の南極からの中継のこと。常に報道番組に革新をもたらしてきた努力。
- ◇ 金子 鮎子 女性初のカメラマン（ビデオグラファー）
東京オリンピック取材の頃。女性の目線をどう生かしたか、を淡々と述懐。
- ◇ 山川 静夫 アナウンサー
「ウルトラアイ」「昼のプレゼント」そして「紅白歌合戦」のこと。番組に対する情熱とこだわり。
- ◇ 青木 賢児 ドキュメンタリー作家
「日本の素顔」「新日本紀行」など仕事を通じ、戦後日本の足跡を体験する思いだった、との述懐。
- ◇ 鈴木 健二 アナウンサー
「こんにちは奥さん」「面白ゼミナール」そして「紅白歌合戦」のエピソード。恐るべき記憶力の秘密。
- ◇ 兼高 かおる 旅行作家
「世界の旅」をめぐる数々のこと。日本初の海外取材番組の苦労。
- ◇ 熊沢 敦 ラジオ番組プロデューサー
「バックインミュージック」のスタートから、深夜ラジオを若者に解放したことについて。

◇ 石橋 恵美子 フラワーデザイナー 消え物担当

「徹子の部屋」のお花・消え物を第一回から現在まで全て担当。そのこぼれ話。

◇ 杉山 邦博 スポーツアナウンサー

小倉訛りの克服の苦勞。相撲に行き着くまでの様々な体験談。

~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~

<一般社団法人 放送人の会とは？>

「放送人の会」は、NHK、民間放送、プロダクションなどの番組制作に携わっている人・携わっていた人、放送メディアおよび放送文化に強い関心を持つ人々が、個人として参加している団体です。

放送について考え、放送や放送関連分野に関するさまざまな問題について、情報を交換し、発信しています。

◇ 設立年月：1997年12月（2013年4月 一般社団法人化）

◇ 会長：今野 勉 会員数：221人（2022年10月1日 現在）

◇ ホームページ：<http://www.hosojin.jp>

<iUとは？>

◇ 大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※ 愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

◇ 学長

中村 伊知哉（なかむら いちや）

<略歴>

- 1984年 ロックバンド少年ナイフのディレクターを経て旧郵政省入省
- 1998年 MITメディアラボ客員教授
- 2002年 スタンフォード日本センター研究所長
- 2006年 慶應義塾大学大学院教授
- 2020年4月より、iU学長に就任

◇ 施設概要

- ・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13
- ・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階
- ・学生数：639名 ・専任教員数：28名

◇ 教育理念 「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

◇ ホームページ：<https://www.i-u.ac.jp/>

◇

<本リリースに関するお問い合わせ先>

一般社団法人 放送人の会

広報担当：菅野高至（090-2320-6749）

事務局長：深尾隆一（プロジェクト担当も）（090-5336-2013）

TEL/FAX 03-3221-0019

郵便番号 102-0094 東京都千代田区紀尾井町1番1号千代田放送会館3階